

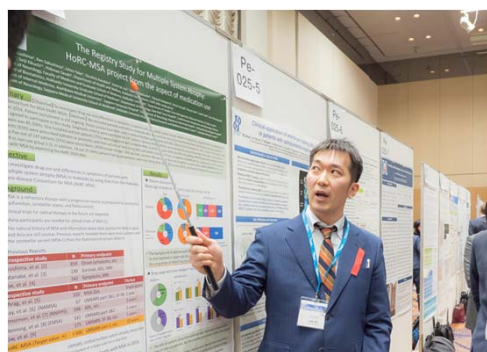
HoRC-MSA ニュースレター

第59回日本神経学会学術大会が札幌で開催

2018年5月23日（水）～26日（土）に第59回日本神経学会学術大会が札幌で開催されました。大会長は北海道大学神経内科 佐々木秀直 教授、大会のテーマは「神経疾患の克服を目指して」で、日本全国及び海外から多くの神経内科医が参加しました。一般市民向けのさっぽろ神経内科ウィークと市民公開講座等も会場に入りきれない方が出してしまうくらい日があるくらいの大盛況でした。大会長講演では佐々木教授が「運動失調症の研究を通して学んだこと」と題した発表を行いました。北海道を中心に行われた脊髄小脳変性症・多系統萎縮症の研究結果が多く含まれている内容でした。



HoRC-MSA解析結果をポスター発表



HoRC-MSAで患者・家族のみなさまにご協力いただいで収集したデータを解析した結果を、松島先生がポスターで発表しました。今回の学会発表は海外からの参加者にも聞いていただけるように英語での発表でした。今回の発表では薬剤の使用状況を報告しました。主な発表内容は、軽症の患者さんでは小脳失調に対してタルチレリン・プロチレリンを使用している割合が高いこと、進行した患者さんではパーキンソン症状に対してL-dopaを使用している割合が高いこと、起立性低血圧に対して複数の薬剤を使用している患者さんが少なくないことなどでした。

日本神経学会学術大会の多系統萎縮症関連トピック

日本神経学会学術大会ではHoRC-MSA以外にも多系統萎縮症に関する発表が多くありました。その中でも最も大きな注目を集めたのが、多系統萎縮症で世界的な業績のあるGregor K Wenning先生の講演です。

Wenning先生は多系統萎縮症の予後に関する研究で有名な先生です。講演では、多系統萎縮症の診断や評価に関するバイオマーカー、画像診断、モデル動物などの最新の研究動向に加えて、海外で実施されている臨床試験では間葉系幹細胞移植以外は有望な結果は出ていないこと、臨床試験を実施する際の試験デザインの工夫など多岐にわたる内容を日本の多系統萎縮症研究者に向けて解説しました。

その他の多系統萎縮症に関する発表では、MRI検査を用いた画像診断、起立性低血圧・排尿障害などの自律神経障害、歩行障害に着目した研究などが報告されていました。



さっぽろ神経内科ウィーク・市民公開講座

さっぽろ神経内科ウィークは5月23日～26日の4日間にわたり道内の病院で診療している神経内科および関連部門の先生方が講演を行いました。頭痛や認知症だけでなくめまいやしびれなど、神経内科に相談したらよい症状がわかりやすく解説されました。5月27日には市民公開講座が「“とし”をとっても元気に暮らそう！！」をテーマに開催されました。道内からはさっぽろ神経内科病院の深澤俊行先生（写真・左）、道外からは東名古屋病院 饗場郁子先生（写真・中央）と横浜総合病院 長田乾先生（写真・右）が転倒や認知症などの話題を講演されました。



調査への御回答のお願い

HoRC-MSAへの参加希望の「意向調査」の返信をいただいた方には、研究説明同意文書とスクリーニング調査票をお送りしています。「同意書」の提出のない場合は、参加する方の承諾が得られていないということになりますので、調査研究を進めていくことができません。HoRC-MSAに参加をご希望の方で、もし同意書が未提出でお手元にある方は、返信用封筒に入れて事務局へお送りください。

時々、転居などのためにこちらから発送した書類が届かずに返送されてくる場合があります。住所変更、通院先が変わったとき、お亡くなりになられた時など、何かありましたら、同封の「変更用紙」にてお知らせをよろしく願います。

調査にご協力いただきみなさまがより回答しやすいように、郵送以外の調査方法としてインターネットを用いたオンラインでの調査方法も準備を進めています。



HoRC-MSA事務局

〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目
北海道大学大学院医学研究科神経病態学講座
神経内科分野（北海道大学病院神経内科）

TEL 011-706-6028 FAX 011-700-5356

URL <http://neurology.med.hokudai.ac.jp/~neuro-w/horc-msa/>

質問・ご意見等募集

HoRC-MSAでは、みなさまのご意見やご質問を募集しています。お寄せいただいた内容は、個人情報に留意しつつ、HoRC-MSAの取り組み・運営の参考にさせていただきます。

〒060-8638
札幌市北区北15条西7丁目
北海道大学大学院医学研究科神経病態学講座
神経内科分野 HoRC-MSA事務局

編集後記

今回は2018年5月に札幌で開催された日本神経学会学術大会のトピックをお伝えしました。初夏の札幌は天候にも恵まれ、全国から集まった神経内科関係者が学術大会だけではなく札幌の歴史や北海道のグルメを楽しまれました。市民公開講座など多くの方が参加できた学術大会でした。

(HoRC-MSA事務局)